



宮島エコツーリズム推進事業 報告レポート

今年度事業について協議

開催日：2025/4/15

【協議の背景】

昨年度の事業では、えびす屋宮島に続く新たなエコツアーおよびコンテンツを造成できる事業者の調査を実施した。その結果、「六角茶房」と「紅葉の賀」の2事業者が、造成の可能性がある候補として挙げられた。今年度は、これらの事業者と連携しながら、具体的なツアーやコンテンツの造成に取り組んでいく方針としており、その実現に向けて協議を行った。

【当日の協議内容】

①今年度の流れの確認

- ・ 総会の開催日時、当日の担当等について確認
 - ・ 今年度のツアーやコンテンツの方向性について再確認
 - ・ 講演会の規模や実施時期についての確認
- フォーラムのような大規模なものではなく、少ない人数の講演会形式が良い。また、秋ごろに実施する方向性



②今年度のゴールの確認

- ・ 今年度、特に「紅葉の賀」に関しては「エコツアー」ではなく「エコツアーのコンテンツ」となる可能性が高い。販売を考えた際に、通常のコテンツ（体験）とエコツアーのコテンツを2つに区別する方向も検討する。
- ・ 達成必須項目＝コンテンツの造成 達成が望ましい項目＝エコツアーの造成

【事業者の紹介】



沖田 由美子さん

made in Miyajima 代表

大聖院の近くにあるカフェ「六角茶房」を運営。特に宮島の西町に詳しく、大聖院やその周辺にフォーカスを当てたエコツアーの造成を検討。



木村 小夜子さん

紅葉の賀 代表

平安装束や着物の着付け体験を提供している。平安時代の建物や文化が残る宮島の特性を活かし、まるで時代をさかのぼったかのような没入感のある体験を検討。

【当日のアジェンダと協議内容】

①上嶋会長挨拶

コロナ禍で活動が停滞していた現状を打破するため、昨年度は大きな動きとして、活動を加速化させる企画運営部会の設置を提言した。現在は、廿日市市観光課を中心とした準備委員会の段階である。今後、様々な事業者が企画運営部会に加わることで、企画運営部会を中心に、質の高いコンテンツの造成、宮島エコツーリズムを広く知ってもらうPR活動を行っていかなければならない。さらに、本協議会の取組を通して、観光人材の育成にも貢献していく。

②議事

議案1号～4号について、事務局から説明し、原案どおり可決された。

第1号 令和6年度宮島エコツーリズム推進協議会事業報告

概要：昨年度造成したえびす屋宮島のエコツアーコンテンツについてや作成したパンフレットやホームページ等の広報支援についての説明等を行った。

第2号 令和6年度宮島エコツーリズム推進協議会決算報告

概要：宮島町商工会山本様より監査結果が問題なかった旨報告いただいた。

第3号 令和7年度宮島エコツーリズム推進協議会事業計画案

概要：新たなエコツアー及びコンテンツ造成として、「紅葉の賀」と「六角茶房」の2事業者を検討しており、また広報や情報発信も引き続き行っていくことを報告。

第4号 令和7年度宮島エコツーリズム推進協議会予算案

概要：今年度の予算について説明。

③その他（協議会への意見・発言）

・監事について

○監事は1名よりも2名に増やした方が良いのではないか。例えば、宮島観光協会を選出してはどうか。

●来年度の総会に向けて検討を進める。

・会員について

○会員に自然保護活動を行っている団体などが入っていないのはなぜか。

●結成当初の会員募集に係る経緯を把握している者がいないので、理由を正確に答えることはできない。しかし、本協議会を広く認知してもらうためにも、会員を増やしていくことは必要なので、これからお声がけをしていくように検討を進める。



【協議の目的】

- 上嶋会長による事業者へのエコツーリズムについての講習
- 事業者のエコツーリズム、エコツアー、コンテンツへの「思い」の共有

○エコツーリズムについての講習（上嶋会長）

■エコツーリズムの起源と日本の現状

エコツーリズムは自然保護を起点に発展したものであり、西洋では文化として浸透しているが、日本ではまだ一般的にそこまで認知されていない。

■展開における重要視点

通常の観光とは異なる価値を持つため、その特徴を明確に伝える必要があり、特に西洋人に響く内容づくりが鍵となる。

また、エコツーリズムの要素の内、特に大切なのは「学び」と「感動」。西洋人にとってエコツアーは「学び」であることは認識しており、如何に「感動」していただくかが重要である。お客様にとっての「偶然」が特に感動に繋がる。一方、事業者としては「必然」となるように下調べや、準備が必要である。

■成功のための実践的アプローチ

地域資源の理解に加え、「誰に届けるか（ターゲット）」を明確にし、そのニーズに合った体験やサービスを提供することが成功のポイントである。

■エコツアーの体制について

エコツアーは、日々、質の向上を図る必要がある。また、季節などによって内容を変えた方が良い場合も多い。したがって、エコツアーの体制としては、最低でもディレクター（ツアーの企画・管理）とプレイヤー（インタプリター；ガイド）の2人がいることが望ましい。

【六角茶房協議内容詳細】

○沖田さんのコンテンツへの思い

宮島には多くの魅力が存在しているが、要素が多岐にわたるがゆえに、それらの魅力を来訪者に十分に伝え切れていないと感じていた。

今回のコンテンツにおいては、**宮島の西町の静かな空間に着目している**。この場所には、いわゆる「ここが良い」という一方向的な価値ではなく、それぞれの来訪者がそれぞれの感性で宮島らしさや自然の美しさ、静けさ、空気感などを感じ取ることができる余白があると考えている。

○今後の方向性

ツアーの骨格をしっかりと作っていく。そのうえで、**「感動のポイント」を適切に用意し、体験の中に仕込んでいく**。ターゲット層としては、インバウンド観光客で特に30~40代で子どもを持つ層を狙っていきたい。

○想定するツアーの流れ

時間：2時間程度

コース：①六角茶房→②大聖院→③林家→④六角茶房

要素：・神仏習合 ・自然と神

【紅葉の賀協議内容詳細】

○木村さんのコンテンツへの想い

木村さんが提供する装束や衣装を身にまとう体験は、本人だけでなく周囲の人にも感動を与える力を持っていると感じている。特に平安装束の体験は、見る人も瞬時に文化の世界に引き込まれる点に魅力がある。また、当時は正式な装いで内面を清めてから神社参拝していた背景を踏まえ、今回のエココンテンツ造成の中では、それらの文化的価値観や歴史的背景を組み入れたコンテンツを開発し、単に衣装を着るだけでない新たな提案をしたいと考えている。

○上嶋会長による紅葉の賀のコンテンツの考え方

木村さんのコンテンツは、すでに完成されたものであり、その内容に手を加えるというよりも、**エコリズムとしてどう捉え、どう接点を持たせていくか**を検討していく段階である。特に、自然との接点をどのように設けるかが重要となってくる。

○課題

コンテンツの種類については非常に豊富であるが、課題はそれらを**どのようなストーリーとして構成していくか**である。特に「雅」や「平安文化」といった世界観をどうやって体験者の中にスイッチとして入れるかが重要なポイント。現代と平安時代を行ったり来たりするような構成ではなく、体験者が一度その世界に入り込んだら**「平安時代にどっぷりと浸かる」ような一貫性と没入感**を重視しコンテンツ作りを目指していく。

○今後の方向性

一貫して平安時代に浸かるという点を重視し、**衣食住の全てを平安時代で統一する方向性で検討を行う**。衣（着付け体験）と住（当時の建物）は既存のコンテンツをブラッシュアップする形で対応ができる。特に着付け体験では、**平安の色合わせの文化や詣の文化の解説を強化**する。



六角茶房カフェ

▽貝合わせ体験



【紅葉の賀協議内容詳細】

①コンテンツの流れ（木村さんがインタープリターとなり一貫したエコツアーとする）

○導入演出 → ○導入説明 → ○着付け体験 → ○貝合わせ → ○偏つぎ → ○大聖院詣
→ ○抹茶体験 → 終了（希望に応じて貝絵付け体験）

②新しく取り入れるポイント・工夫点

- ・五感を使った導入演出：体験開始前に平安時代の音楽を流し、香を焚いて迎えることで、視覚・聴覚・嗅覚に訴える導入を行い、参加者を一気に非日常の世界へ引き込む。
- ・生活文化や美意識を中心とした解説：年号や出来事ではなく、貴族の生活様式や美意識（衣装の残し方や香りの使い方など）を紹介することで、外国人にも感覚で理解しやすい内容にする。
- ・大聖院詣と社交文化の紹介：当時の詣が祈願だけでなく社交や恋愛文化の場であったことを伝えることで、体験に深みと物語性を持たせる。

③今後の方向性

これまでの協議内容をもとに、コンテンツ全体の流れをブロックごとに整理し、各ブロックで行う説明や演出、対応内容を一覧にまとめていく。その後、内容の精度を高めたうえで、モニターツアーを実施し、実際の参加者からの反応や課題を把握し、さらなる改善につなげていく。

8～9月にかけてシナリオを開発。完成したシナリオがこちら

	時間	コンテンツの目的	内容
①	20min (例) 10:00 ～ 10:20	異文化への導入 (起)	【挨拶・双方自己紹介】 →お客様の興味、知識レベルを探る。▶お茶を提供し、ガイドンスへ 【ガイドンス】異文化（平安時代）への誘い(いざない) ・貴族（中流階級）の生活様式。 →平和で暇な時代 →住居や生活スタイル →食事（かりんとうや餅）
②	60min (例) 10:20 ～ 11:20	実体験 (承) 感動 + 学び	【着付け体験】 →着付けしながら平安装束の説明 →平安時代の外出着・旅姿 【平安遊び体験】 ・貝合わせ→歌合わせも行っていた ・偏つぎ（日本人、漢字を知っている外国人対象）→言葉や漢字の奥深さの発見
③	35min (例) 11:20 ～ 11:55	実体験 (承) 感動 + 学び	【大聖院までの散策】 <海岸線～厳島神社> ・宮島の自然の話 ・詣文化の話 ・厳島神社等の平安時代の建築 <厳島神社～大聖院> ・神社とお寺の違い ・管絃祭などの司祭
④	25min (例) 12:20	実体験	【紅葉の賀までの散策】 ・話忘れた内容を話す ・町並みや、平安時代の食事など
⑤	15min (例) 12:35	-	【着替え】
⑥	25min (例) 13:00 ～ 13:25	締め (結)	【抹茶体験】 ・抹茶を飲みながら振り返り。会話の中で感想を聞き、次に活かす。 ・貝の絵付け体験も行ってみるか、お声掛けを行う（平安装束を汚さないため着替え後）。 もしくは、帰宅してから書けるもの（絵付け用の貝など）を渡す。

広報用素材撮影

昨年度造成を行った、「えびす屋宮島」と今年度造成を行っている「紅葉の賀」と「六角茶房」のコンテンツの広報用素材の撮影を実施した。

■えびす屋宮島



■六角茶房



広報用素材撮影＋紅葉の賀コンテンツ体験

紅葉の賀では、広報用素材の撮影も行いながら、体験も同時にしていただき、参加したモデルからの感想をヒアリングした。

■紅葉の賀



■評価とアドバイス

<評価>

- ・これまでに着物を着た経験はあったが、「平安衣装」を着用するのは初めてで、新鮮さがあって良かった。平安時代の衣装を身にまとい、当時の遊びを体験できる内容は、他ではなかなか体験できない特別なものだと感じた。
- ・平安衣装を着て屋外に出ると周囲から非常に注目され、特に外国人観光客から写真撮影を求められる場面が多かった。そうした交流を通じて、非日常的で特別感のある体験だと感じられた。

<アドバイス>

- ・衣装自体がかなり重いため、大聖院までの散策は参加者を選ぶ可能性があると感じた。希望に応じて案内範囲を調整するなど、柔軟な対応があるとより参加しやすくなると思う。また、衣装の重さや歩行距離について、事前にもう少し具体的な説明があると安心して参加できる。
- ・海外からの参加者に対しては、当時の人々の生活や価値観について、もう少し噛み砕いた解説を加えることで、平安文化への理解がより深まると感じた。

【六角茶房協議内容詳細】

■ターゲット設定

- ・主軸は日本人女性、特に文化・歴史に関心のある落ち着いた年齢層
- ・日常の疲れを癒したい層、一人旅需要を想定
- ・インバウンドは将来的に対応（当面は日本人中心）

■ツアータイトル

宮島大聖院エコツアー ～地元の人々が大切にしてきた祈りと私を慈しむ時間～

■価格構成・運用

実施時間：8:00～12:00

価格（税込）1名：12,000円（以降1名追加ごとに+6,000円）

■販売方針

安売りは避け、高付加価値ツアーとして展開
価値を理解する文化関心層・富裕層への販売を重視
将来的に高級宿泊施設・文化施設との連携を検討

■今後のアクション

1月に有識者を招聘し、モニターツアー実施検討



■主要解説ポイント



【モニターツアー】

本コンテンツの磨き込みを目的として、宮島島内の視点および広島県全体の観光動向に精通した関係者を招聘し、モニターツアーを実施した。ツアー終了後には、コンテンツ内容や構成、ターゲット設定、今後の展開可能性等について意見交換およびヒアリングを行い、今後の商品改善に向けた示唆を得た。

■招聘した有識者

・広島県観光連盟 ・瀬戸内DMO ・宮島観光協会

■当日の様子



■評価とアドバイス

<評価>

- ・砂紋体験や草取りなど、実際に手を動かす体験が特に印象に残った。作業後にお茶を飲みながら、自分で整えた庭を眺める時間は、非常に満足度が高かった。（草取り体験は苦手だったという反対の評価もあった。）
- ・水の流れの話がエコツーリズムの文脈と結びついており、環境への理解を深める要素として良かった。
- ・朝早く実施することで、小学生の登校風景など宮島の日常に触れられた点は、観光客にとって強い非日常体験となっていた。
- ・大聖院に特化したツアーであり、六角茶房を拠点に解説する構成は、他にはない独自性の高い企画だと感じた。
- ・同じ内容でも「誰が伝えるか」が体験の価値を大きく左右しており、ガイドの存在そのものが大きな魅力となっている。

<アドバイス>

- ・ツアー冒頭で、地図などを用いて「全体の流れ」「これから何を体験するのか」「ツアーのテーマや視点」を明確に共有すると、理解と満足度が高まる。
- ・ガイドがどのような地元の人で、なぜこの活動をしているのか、大聖院や六角茶房とどのような関係性があるのかを最初に伝えると、安心感と親近感が生まれる。
- ・神様と仏様の違い、仏様ごとの意味やご利益など、基礎的な宗教知識を補足すると、初参加者にも分かりやすくなる。
- ・地元ならではの雑談や「地元あるある」を意識的に織り交ぜることで、ツアー全体の親密度が高まる。
- ・倉敷の事例のように、冒頭で簡単な座学（街や信仰の成り立ち）を行ってから巡る構成も参考になる。
- ・インクルーシブの範囲（料金に含まれる内容）を冒頭で明確に説明する必要がある。
- ・一願大師など重要なスポットについては、背景や意味を丁寧に伝えることで、体験価値をさらに高められるのではないかと感じた。

【完成シナリオ】

モニターツアーでの意見等を取り入れてシナリオのブラッシュアップを行った。最終的に完成したシナリオは下記の通り。（本編は詳細にわたるため、概要版を掲載。）

	時間	内容	感動ポイント	ツール	キーワード
①	30min 08:00～08:30	六角茶房（挨拶・双方自己紹介） →お客様の興味、知識レベルを探るとともに、沖田さんへの関心を持たせる。 【ガイドンス】 ●大聖院の成り立ちをベースとした話 ・「神社とお寺の違い」や「神仏習合」の話 ・何故、大聖院がここに存在するのか ・宮島で禁忌の習俗の話	・大聖院の歴史や格 ・厳島神社との関係 ・特徴的な宮島の歴史、自然、習慣 【お客様の感情】 ・ガイドへの安心感 ・旅の全容の確認と期待感の高まり	大聖院の地図写真 ・玉取延年祭 ・鎮火祭 ・霊火堂（消えぬ火）	神仏習合
②	30min 08:30～09:00	手水舎 ▶ 弁財天・歓喜天・多聞天 ▶ 大聖院仁王門 五百羅漢 ▶ 【仏教】五百羅漢（500人の弟子） 鐘楼堂 ▶ お客様のニーズに合わせて、梵鐘 ▶ 庭園の案内 勅願堂 ▶ 天皇の勅願 ▶ 空海伝説や不動明王像	【お客様の感情】 ・五百羅漢の数への驚き ・学び、納得 ・体験の楽しさ	写真撮影 映えポイント	喜・怒・哀・楽 豊臣秀吉 鶴等 諸願成就
③	20min 09:00～09:20	摩尼殿 ▶ カラス天狗 ▶ 摩尼車 ▶ 摩尼殿の使用目的（御祈祷）や雰囲気、建築様式を説明し、自由に見学してもらおう（お客様の興味に応える）。	・ご祈祷のお経、太鼓の音 ・寺の中に神様が祀ってある（神仏習合） ・三鬼大権現 【お客様の感情】 ・心の整え（耳） ・学び、納得 ・祈り	摩尼車	三鬼大権現 御祈祷場所 建築美
④	8min 09:20～09:28	（移動）石畳のコース（包丁塚、水掛地藏） ▶ 春：新緑、夏：涼気・虫の声、秋：紅葉、冬：静寂を感じてもらおう。	・四季折々の木々を近くで感じる 【お客様の感情】 ・自然の心地よさ	写真 ・包丁式	
⑤	12min 09:28～09:40	遍照窟 ▶ 説明は簡潔にし（八十八ヶ所の意味程度）、御経と雰囲気を楽しんでもらおう。	・御詠歌に耳を傾ける ・蠟燭の炎を見つめる 【お客様の感情】 ・心の整え ・祈り	・写真撮影スポット	荘厳 音（読経） 神秘的な雰囲気
⑥	12min 09:40～09:52	大師堂（一願大師） ▶ 絵馬も購入して貰い、裏まで行って、しっかりと拝んでもらう。	・自分と向き合う時間 【お客様の感情】 ・心の整え ・祈り ・願い	絵馬 映えポイント ・振り返って、 厳島神社方面の風景	弘法大師 空海
⑦	8min 09:52～10:00	八角万福堂 ▶ 七福神それぞれの福徳を授けて貰える。 ▶ 池の水は、「白糸川」から引いている。ここで水の話でつなげてみても良いかも。		写真	宮島七福神 七福神授福祭
⑧	15min 10:00～10:15	観音堂 ▶ 十一面観世音菩薩、釈迦涅槃像と十六羅漢 →多様な神仏をしっかりガイドンスする。	・厳島神社の本地仏（神仏習合） ・「合掌」意味 ・仏の世界 【お客様の感情】 ・学び、納得		多様な神様、 仏様等
⑨	6min 10:15～10:21	地下戒壇巡り ▶ 左側の壁をつたって「南無大慈大悲観世音菩薩」 ▶ 十一面観世音菩薩 →明るい世界に戻り、晴れやかになる。	・生まれ変わりの場所 ・心静かに自分と向き合う 【お客様の感情】 ・暗さへの驚き ・体験の楽しさ ・心の整え ・達成感		精神修養
⑩	7min 10:21～10:28	（移動）観音堂→六角茶房 ▶ 御成門から厳島神社の風景 ▶ 摩尼車（「功徳を持ち帰る」という意味で、参拝で清められた心で最後に功徳を積むことで、その恩恵を家路に着きながら持ち帰ることができる。）	御成門からの眺望を全員で見える 【お客様の感情】 ・心地よさ ・達成感	摩尼車	功徳の持ち 帰り
⑪	20min 10:28～10:48	六角茶房（庭園） ▶ 枯山水に砂紋を描く体験 ①砂紋を描く前に、庭園の清掃 ②川から海に繋がるイメージを説明する。 ③そのイメージをもって、自由に砂紋を描いて貰う。 ▶ 抹茶等を用意し、ベンチで庭園を鑑賞する。	・地味な作業を淡々と続け自分と向き合う 【お客様の感情】 ・無心 ・学び、体験 自らが整えた庭園を眺め自分との向き合い、精神統一 【お客様の感情】 ・気持ちよさ ・達成感	インバウンド用には、京都の庭園など、様々な砂紋の写真があっても良いかも。 抹茶等飲料水	日本庭園体験
⑫	12min 10:48～11:00	六角茶房内（状況によって精算処理） ▶ 世界の平和を折りながら、折り鶴を折る。 ▶ 感想などのヒアリング	・世界平和 ・祈り ・メディテーション	折り紙	